

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	08	04	01	0401	立地適正化計画策定事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2	生活基盤の充実			
	施策	3	住宅の安定確保			
目的	既成市街地における都市機能の整備等を通じて、持続可能な都市の構築と地域の活性化の実現を目的とする立地適正化計画を策定する。					
対象	市民					
意図	居住や都市機能の密度の維持、向上により、持続可能な都市の形成を図る。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
人口減少社会に耐え得るまちづくりの推進を目的に、居住密度の維持向上を図るための施策や、市民生活に必要な施設の適正な配置と整備の計画等を内容とする立地適正化計画を策定する。						
市民参画の有無 [ 市民アンケート、パブリックコメント等 ]						
市民協働の形態		共催	<input type="radio"/> 実行委員会・協議会		<input type="radio"/> 事業協力・協定	
		後援・協賛	<input type="radio"/> 補助・助成		<input type="radio"/> 委託	
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	業務委託発注	件	計画		1	
			実績		1	
②	協議、調整、ヒアリング、調査等	人・回	計画		20	
			実績		18	
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	公共施設、不特定多数が利用する施設等の整備や計画のため公共関与が妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	立地適正化計画により、都市機能や居住の無計画な拡散を抑制することと、広場整備や総合医療機関の移転更新により、都市機能の集積・維持を図っていくものである。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	都市部におけるインフラや箱もの整備は、基本的に立地適正化計画の考え方に基づき必要最低限の整備を行う。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	花巻市全体の計画である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
平成27年度内に立地適正化計画策定にかかる作業をほぼ終了し、3月末から4月末にかけパブリックコメント、5月中旬に都市計画審議会の開催、6月初旬に公表の運びとなったことから、ほぼ当初の目的を達成した。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	04	01	0401	立地適正化計画策定事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			16,690		16,690
財 源 内 訳	国・県		7,485		7,485
	地方債				
	その他				
	一般財源		9,205		9,205

事業期間  単年度繰返  期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部重点施策における目標

既成市街地の再構築

事業開始の背景・経緯

地方都市では人口減少と高齢化、産業の停滞など地域の活力が低下しており、経済社会情勢の変化に対応した都市の再構築が求められている。花巻市でも重大な課題であり、都市の再構築による定住人口の確保と地域の活性化が急務である。

事業概要

人口減少社会に耐え得るまちづくりの推進を目的に、居住密度の維持向上を図るための施策や、市民生活に必要な施設の適正な配置と整備の計画等を内容とする立地適正化計画を策定する。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・課題の洗い出しを踏まえ、より効果的な事業手法等を構築する必要があること。
- ・公民連携やリノベーションまちづくり、空き家、空き店舗、空き地利用対策、公共交通計画等との連携が必要であること。
- ・都市的土地利用の拡大の抑制など、立地適正化計画制度の基本理念に対する住民や関係団体の理解が必要であること。

担当部署 部名 建設部 課名 都市再生室 担当室長 井元尚充 内線 564

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- 立地適正化計画の策定（平成27年度。集約都市形成支援事業 国庫補助 1 / 2）  
（計画の主な内容）
  - ・住宅や都市機能の立地適正化に関する基本方針
  - ・居住誘導区域と都市機能誘導区域の範囲
  - ・居住や都市機能を誘導するために講ずる施策
  - ・必要な施設等の整備の計画

○H27決算額

8 節	謝礼金	56,000	都市再生協議会委員謝礼 @4,000×14名×1回
9 節	職員旅	411,940	国土交通省等
	費用弁償	76,240	リノベーションまちづくり公開セミナー（馬場正尊ほか）
13 節	委託料	14,968,800	立地適正化計画策定支援業務委託料
		1,177,200	不動産鑑定評価業務委託料（エセナ）
		16,690,180	円